

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo. 2 4

令和6年1月11日

発行者 黒田 優一



1年間の成長を実感し、感謝の心をもって、次につなげる3学期に

1月9日(火)は3学期の始業式。子どもたちの笑顔と元気な声が学校に戻ってきました。冬休みの期間中、子どもたちが事故や大きな怪我なく過ごせたことが何よりの喜びです。ご家庭での子どもたちへのご指導、ありがとうございました。

さて3学期は、「1年間の成長を実感し、感謝の心をもって、次につなげる3学期」にしたいと思います。1学期、2学期のがんばりをおして、自分ができるようになったこと、わかるようになったことに自信をもつこと。そして、自分を支えてくれる家族、友達、先生、地域の方に感謝の心をもつこと。この2つのことを大事にして、3学期をがんばりましょうという話をしています。3学期も、子どもたちがさらに成長できるよう指導してまいります。ご家庭での励ましの声かけをよろしくお願ひします。始業式では次のような話をしています。

2学期の終業式の日、「自分の役割」のある冬休みにしましょうというお話をしました。何か一つでもいいから自分の役割を見つけて、それをがんばりましょうと言いましたね。冬休み、自分の役割を見つけて、がんばることができましたか。家族にとって、皆さんの役割はとても大切です。家族の中の皆さんの役割を、これからも大切にしましょう。

さて、今年の1月1日に、石川県の能登半島というところで大きな地震が起こりました。この地震でたくさんの方が亡くなり、たくさんの方がけがをしました。またたくさんの方が家を失い、避難をされています。このような大きな災害が起きたとき、私は、いのちの大切さについてあらためて考えさせられます。いのちを大切にすることとは、どういうことか。一つは、「自分らしく今を一生懸命生きる」ということ。もう一つは、「まわりの人を大切にすること」。私たちは、今、生きることが出来る。いのちを大切に、自分らしく今を一生懸命生きましょう。そして、まわりの人を大切にしていきましょう。

さあ、皆さん、今日は3学期のスタートです。1年のまとめとなる3学期も、いろいろなことにチャレンジして、今よりももっと「賢い子」「がんばる子」「優しい子」「協力する子」になって、ぴっぴかに輝いてほしいと思います。

そのために3学期に大事にしてほしいことを2つお話します。

一つは自分に「自信をもつこと」。1学期、2学期と、皆さんはいろいろなことをがんばってきましたね。そして、できるようになったこと、わかるようになったことがたくさんあると思います。それはすばらしいことです。いろいろなことができるようになった自分に、いろいろなことがわかるようになった自分に自信をもちましょう。そして、自分をもっと輝くために何が必要なのかを考えながら、3学期をがんばりましょう。

もう一つは、「感謝の心をもつこと」。みんなが、いろいろなことができるようになり、わかるようになったのは、自分の努力はもちろんですが、まわりに家族、友達、先生、地域の方がいたからです。自分を支えてくれる人、自分に関わってくれる人に感謝の心をもちましょう。

自分に「自信をもつこと」。そして、「感謝の心をもつこと」。この二つのことを大事にして、3学期をがんばっていきましょう。

大久保小学校一徳運動・・・気持ちのこもったあいさつと言葉遣いをしよう